

専門基礎分野

(22単位)

人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	1	単位	30	時間
	解剖生理学Ⅱ	1	単位	30	時間
	解剖生理学Ⅲ	1	単位	30	時間
	生活を支えるからだ	1	単位	15	時間
疾病の成り立ちと回復の促進	生化学	1	単位	30	時間
	栄養学	1	単位	30	時間
	微生物学	1	単位	30	時間
	病理学	1	単位	15	時間
	病態治療論Ⅰ	1	単位	30	時間
	病態治療論Ⅱ	1	単位	30	時間
	病態治療論Ⅲ	1	単位	30	時間
	病態治療論Ⅳ	1	単位	30	時間
	病態治療論Ⅴ	1	単位	30	時間
	治療論概説Ⅰ	1	単位	30	時間
	治療論概説Ⅱ	1	単位	30	時間
	薬理学	1	単位	30	時間
	総合医療論	1	単位	15	時間
健康支援と社会保障制度	公衆衛生学Ⅰ	1	単位	15	時間
	公衆衛生学Ⅱ	1	単位	15	時間
	医療福祉論Ⅰ	1	単位	30	時間
	医療福祉論Ⅱ	1	単位	15	時間
	関係法規	1	単位	30	時間

専門基礎分野（22単位）

1. 専門基礎分野の考え方

医療を取り巻く環境が変化している中、国民の医療や健康に対する意識も変化してきている。その変化に応じることができる、質の高い医療サービスの提供者としての能力が看護職には求められている。また、看護職においても看護の対象や家族の意思を尊重しQOLを重視しようという認識が浸透してきている。さらに医療は高度化、多様化している。

それに対応するために、人間の身体の構造や各器官が本来持っている機能や疾病の原因、治療についての理解、予防的な視点に基づいてアセスメントできる知識を学ぶ。看護の対象を生活者の視点で捉え、科学的な根拠をもとにして看護を提供していくための知識、健康の維持・増進・回復に向けて多職種と協働できる基礎的知識を養うことが求められている。

そのため、人体の構造や機能、人間の健康や健康障害の理解、健康を支援する施策や方法、関係する法規等について学ぶ。また、保健医療福祉の仕組みや看護職の役割を理解する内容とし、看護の基盤となる学びとする。

2. 目的

人体の構造と機能について系統立てて学び、健康維持の方法、疾病の成り立ちと回復の促進の方法、障害について理解する。また、看護の対象に対する健康支援と社会保障制度についての基礎的知識を養う。

3. 目標

- 1) 人体の構造と機能及び機能障害と回復の促進について学ぶ。
- 2) 健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を養う基礎的知識を学ぶ。
- 3) 看護の対象者への健康支援について基礎的知識を理解する。
- 4) 医療・看護の変遷と現状及び今後の動向について学ぶ。
- 5) 人々の健康を守るために必要な、保健医療福祉及び看護に関する法規について学ぶ。
- 6) 保健医療福祉の基本概念及び制度について学ぶ。
- 7) 保健医療福祉に関する職種の役割について学ぶ。

